

第2回 淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会 議事要旨

1. 日時 : 令和3年1月18日(月) 15:00~17:00

2. 場所 : TKP大阪本町カンファレンスセンター ホール3A(WEB 併用)

3. 出席者:

【委員】

◎大西 有三	京都大学 名誉教授
清野 純史	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 教授
佐々木 哲也	土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員
建山 和由	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授
中川 一	京都大学 防災研究所 教授
福島 雅紀	国土技術政策総合研究所 河川研究室長

【オブザーバー】

豊口 佳之	近畿地方整備局 河川部長
三戸 雅文	近畿地方整備局 淀川河川事務所長

※ 敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議事

○第1回 淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会 議事要旨、前回委員会の主な意見に対する対応方針(案)について、了承された。

○資料-3 に示す検討項目および検討手法の明確化(案)について、承認がなされた。ただし、以下のコメントを頂いた。

- ・圧密沈下の検討では、土-水連成2次元弾塑性解析による詳細な照査手法を提案しているが、1次元圧密解析のような簡便な照査手法を併用することで、結果に対して、大局的な視点での評価を加えていくのが良い。
- ・また、土-水連成2次元弾塑性解析の結果により、必要に応じて縦断方向の検討も実施する。

○資料-4 に示す数値解析における計算断面の選定(案)について、承認がなされた。ただし、以下のコメントを頂いた。

- ・今回整理した断面選定の考え方が適用できる構造条件等の範囲を整理することで、条件変更が生じた場合でも、その安全性評価に対応できるようにしておくのが良い。

- ・堤防および道路構造物の一体構造としての安全性について整理を行っているが、道路構造物単体としての整理の位置付けについても表現しておくのが良い。

○委員会の検討スケジュール(案)について、了承された。

以 上